

ROUTE GRAND BLUE

ルート・グランブルー ロゴデザインマニュアル

このマニュアルは、ルート・グランブルーのロゴデザインを正しく理解していただき、さまざまな場面で適切に活用していただくために作成したものです。

※この資料はロゴデータではありません。ロゴデータは別途申請先より支給されたものをご使用ください。

ルート・グランブルー ログデザインマニュアル

目次

0. はじめに	ルート・グランブルーとは	03	4. 間違いやすいポイント	ロゴを使う上で、やってはいけない例	22
				その他 NG例（媒体別）	23
1. ロゴを使うとは？	ロゴをつかう皆さんへ	05	5. ロゴデータについて	白ヌキロゴの使用について	25
	海岸線には、ひとつにつながる物語がある。	06		データの形式と用途	26
	ロゴは、この地域の「案内人」です。	07		データの保存場所	27
	ロゴをみんなで気持ちよく使うために。	08			
2. ロゴについて	シンボルマークについて	10		お問い合わせ・発行情報（巻末）	28
	ロゴタイプについて	11			
	シンボルカラーについて	12			
3. ロゴの基本ルール	ロゴの種類	14			
	カラーのルール	15			
	サイズのルール	16			
	余白のルール	17			
	マークとロゴタイプの組み合わせルール	18			
	背景との組み合わせルール／単色背景編	19			
	背景との組み合わせルール／写真背景編	20			

はじめに

ルート・グランブルーとは

ルート・グランブルーは、唐津の唐房バイパスから波戸岬へと続く、海沿いおよそ20キロの観光道路です。

名前は「深い海の群青色」を意味し、世界的ダイバー、ジャック・マイヨールが愛した唐津の海にちなんで“ROUTE GRAND BLUE”と名づけられました。

ルート・グランブルーがめざしているのは、沿線にあるさまざまな魅力をつなぎ、ルート自体が「観光の目的地」として選ばれる存在になることです。

この道を中心に、地域の取り組みと民間のアイデアが重なり、それぞれの魅力がゆるやかに広がっていくことで、エリア全体が“まわりながら楽しめる場所”へと変わりつつあります。

ルート・グランブルーは、地域の人たちとともに、世界へ発信できる観光ルートをめざして、さまざまな取り組みを進めていきます。



1

ロゴを使うとは？

ロゴをつかう皆さんへ

ロゴをつかうというのは、 この道をいっしょに育てていくということ。

このロゴを手にとってくださる皆さんは、ルート・グランブルーの思いを、それぞれの場所で伝えていく“仲間”です。お店のメニューや商品のタグ、イベントのお知らせなど、ふだんの風景の中にロゴがそっと置かれるだけで、この道がひとつにつながって見えたり、地域の魅力がより伝わりやすくなっていきます。

だからこそ、使う前にほんの少しだけ、このロゴがどんな思いから生まれたのか、そしてどんなふうに使ってもらえるとうれしいのかを知っていただけたらと思っています。その理解があるだけで、ロゴはより自然に、場所ごとの魅力と重なり合い、訪れた人に“この道らしさ”を感じてもらえるようになります。

そして、その上で自由に使っていただくことが、この地域の体験をいっしょに育てることにつながっていきます。皆さんの手の中で、このロゴがどんな景色と重なっていくのかを楽しみにしています。



**この海岸線には、
ひとつにつながる物語が
あります。**



美しい海の景色だけでなく、集落の暮らし、漁の営み、道のカーブ、夕日が沈む浜辺。この地域には、場所ごとに違う魅力が、ひとつの流れのようにつながっています。

けれど、その魅力は“知っている人には伝わるけれど、知らない人には気づかれにくい”という課題がありました。そこで生まれたのが、ルート・グランブルーという名称であり、ロゴです。ロゴは、この海岸線がもつ物語をシンプルにまとめ、訪れる人に「この道には何かがある」と感じてもらうための“共通のしるし”。特別なものを無理やり作るためのロゴではなく、“もともともここにある価値”を見える形にしたものです。

ロゴは、この地域の
「案内人」です。



ロゴは、観光客だけに向けた目印ではありません。
地域で暮らす人、事業者の方々にとっても、「私たちは同じ道をいっしょに育てている」という共通認識をつくる役割があります。

ロゴがさまざまな場所で正しく使われることで、この海岸線の魅力がひとつの体験としてつながっていきます。逆に、バラバラの使い方をすると、見る人の受け取る印象もバラつき、せつかくの魅力が伝わりにくくなってしまいます。だからこそ、ロゴを使うみなさんは、この地域の魅力を届ける“大切な案内人”のひとりです。どこに置き、どんな使い方をするかが、訪れる人の体験を変えていきます。

ロゴを、みんなで気持ちよく
使うために。



このマニュアルは、ロゴの使い方を制限するためのものではありません。さまざまな方が安心してロゴを利用できるように、“共通の基準”をまとめた手引き書です。

ロゴは、使われる場面ごとに見え方が変わるため、一定のルールを共有しておくことで、だれが扱っても同じように整った印象になります。ここでは、そのために知っておくと便利なポイントを、できるだけ整理しました。使う前に目を通していただくことで、より適切に扱いやすくなります。ロゴを利用する目的は人それぞれですが、共通の基準を知っておくことで、どんな媒体でも安心して使えるようになります。どうぞ気軽に活用してください。

2

ロゴについて

シンボルマークについて

唐津の唐房バイパスから 波戸岬へと続く

海沿いの道を表現したマークです。

このシンボルマークは、佐賀県北西部の海岸線をつなぐルート・グランブルーの道筋を、誰が見ても感じ取れるようにデザインしたものです。この土地にしかない海岸線の地形や集落、港の風景、そして水平線へ伸びていく眺め——。そうした景色と、この道を実際に走ったときの感覚が、ロゴを見るたびに自然と重なっていくことを意図しています。そうした体験が積み重なることで、このマークがルート・グランブルーを象徴するしるしとして、少しずつ地域に受け入れられ、育っていく未来を想像しています。



ロゴタイプについて

**ルート・グランブルーの背景にある
フランスのルーツを反映した
ロゴタイプです。**

このロゴタイプの文字は、ジャック・マイヨール氏の文化的背景にある、フランスのデザイン表現を手がかりに設計したものです。フランスの道路標識にも見られる書体をベースに、“道を示す名前”としての雰囲気やトーンを感じられるように設計しています。装飾を抑え、道の名前をていねいに伝えるための形に整えており、ルート・グランブルーを見分ける“名前のしるし”として働くことを意図しています。

ROUTE GRAND BLUE

シンボルカラーについて

唐津の海に広がる深い青を表現した、 ルート・グランブルーのための シンボルカラー

GBブルーは、唐津の海に広がる深い青をもとにした、この道のためのシンボルカラーです。海沿いの落ち着いた風景とも馴染みやすく、シリーズ全体のトーンを整える役割を担っています。GRAND BLUEが示す「雄大な青」「深い青」というイメージに重なる色として、GBブルーを設定しました。鮮やかさを抑えた深みのある青は、ロゴやサインに使われたときに視覚的な軸となり、ルート・グランブルーの印象や空気感を静かに支えます。この道の世界観を作るための、重要な要素として設計しています。



GB BLUE

3

ロゴの基本ルール

ロゴの種類

ルート・グランブルーのロゴには、用途に合わせて使えるいくつかの形があります。
単体で印象を伝えやすい「GBマーク」と、
名前をしっかり読ませたい場面に向けたロゴタイプ（1段／2段）を用意しています。
使う媒体やスペースに応じて、もっとも見やすく伝わる形式を選んでください。

GBマーク（シンボルマーク）

シンボルマークは、ルート・グランブルーの存在をひと目で伝えるための“象徴”として機能します。印象を簡潔に伝えたい場面に向いています。

ウェブのトップページや表紙など写真やビジュアルの上でワンポイントとして扱う際にも適しています。また、SNSアイコンやグッズなど、名称を読ませる必要がない場合に使いやすい形式です。



ロゴタイプ

ロゴタイプは、ルート・グランブルーという“名前そのもの”を正確に伝えるための形式です。案内サインやフライヤー、ウェブのヘッダーなど、名称を明確に示したい場面に向いています。読みやすさと落ち着いた印象を重視しているため、公式文書や協賛表記など、信頼性や正式な表記が求められる媒体でも使用します。

ヨコ1段

ROUTE GRAND BLUE

ヨコ2段

**ROUTE
GRAND BLUE**

カラーのルール

ロゴは、使用する媒体や表現環境に応じて「カラー（メイン）」と「モノクロ（サブ）」を使い分けますが、原則としてはカラー（メイン）の使用を基本とします。

色の再現が可能な紙媒体やウェブなどでは、ブランド全体の統一感を保つため、カラー版のロゴを使用してください。

新聞などモノクロ表現が前提となる媒体や、カラーでの再現が適さない場合に限り、補助的な表現としてモノクロ（サブ）を使用します。

カラー（メイン）

主に紙媒体やウェブなど色の再現が可能な媒体で用いる



ROUTE GRAND BLUE

**ROUTE
GRAND BLUE**

CMYK	C.100% M.99% Y.60% K.27%
RGB	R.0 G.29 B.77
HEX (16進数)	#001d4d
PANTONE	295C
DIC	435 ※PANTONEにて指定ができない際にのみ利用

モノクロ（サブ）

新聞などモノクロ表現の媒体で用いる



ROUTE GRAND BLUE

**ROUTE
GRAND BLUE**

CMYK	C.0% M.0% Y.0% K.100%
RGB	R.0 G.0 B.0
HEX (16進数)	#000000

サイズのルール

ロゴは、どの媒体でも形や読みやすさが保たれるよう、最小サイズを設けています。

これより小さいサイズで使用すると、線がつぶれたり文字が判読しにくくなるため、視認性を確保する目安としてご利用ください。

GBマーク、ロゴタイプ（1段・2段）それぞれで最小サイズが異なりますので、

掲載する媒体やレイアウトに合わせて、各サイズ以上での使用をお願いします。

GBマーク



最小サイズ



ロゴタイプ (ヨコ1段)

ROUTE GRAND BLUE

最小サイズ

ROUTE GRAND BLUE  3mm

ロゴタイプ (ヨコ2段)

**ROUTE
GRAND BLUE**

最小サイズ

**ROUTE
GRAND BLUE**  7mm

余白（アイソレーション）のルール

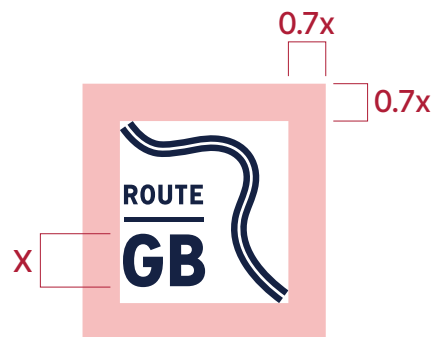
ロゴの周りには、デザインを読み取りやすく保つための「余白（アイソレーション）」を確保します。

文字や写真、ほかの要素が近づきすぎるとロゴの印象が損なわれるため、表示する際は必ずこの余白を空けて使用してください。

GBマークとロゴタイプでは必要な余白の幅が異なります。

図に示した基準（Xや1/2X）を目安に、ロゴの独立性を保つようにご利用ください。

GBマーク



ロゴタイプ（ヨコ1段）



ロゴタイプ（ヨコ2段）



マークとロゴタイプの組み合わせルール

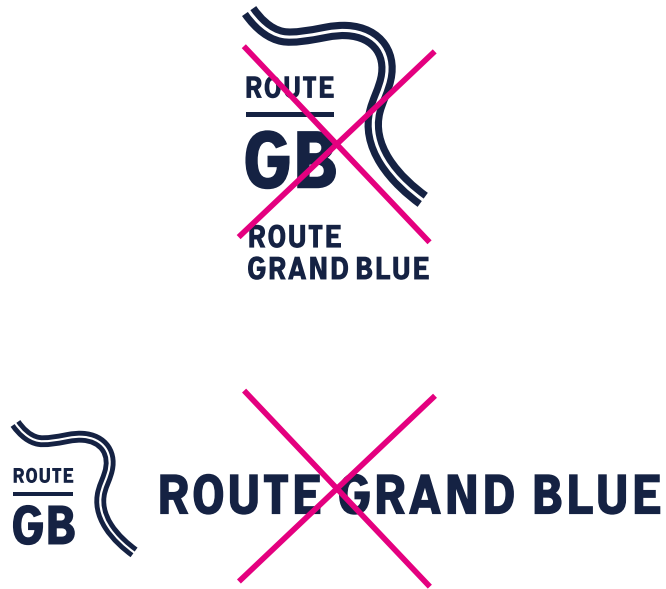
マークとロゴタイプは、それぞれ独立した役割を持つため、ひとつの塊として“組み合わせて配置する”使い方はできません。

重ねたり、近接させて一体のロゴのように扱くと、識別性や意味が曖昧になってしまうためです。

ただし、ポスターやフライヤーなど同じデザインの中で別々の役割を担う場合（例：表紙にマーク、クレジットとしてロゴタイプ）には、同居して問題ありません。それぞれの役割を保ったまま、適切な距離と配置で運用してください。

マークとロゴタイプを“ひとつのロゴ”として扱わないこと。

上下に重ねたり、横並びで密接に配置して一体化してしまうと、本来の構造が崩れ、視認性も損なわれます。マークとロゴタイプは組み合わせて使用する前提ではないため、このような配置は不可とします。



同じ版面内で、それぞれが“別々の役割”として存在する場合は使用できます。

例：ビジュアルの中央にマーク、クレジット表記として隅にロゴタイプを配置するなど。独立性が保たれ、互いの可読性を妨げない配置であれば問題ありません。



背景との組み合わせルール／単色背景編

ロゴは、置かれる背景によって見え方や印象が変わります。

そのため、背景の色や明るさに合わせてロゴの色や表示方法を選ぶことで、

ロゴの読みやすさと存在感を適切に保つことができます。

使用する背景とロゴの関係性に応じて選択し、視認性を保つようにご利用ください。

白背景

背景が白の場合は、「GBブルー」または「黒」で
使用すること。



ROUTE GRAND BLUE

**ROUTE
GRAND BLUE**

GBブルー or 黒背景

背景が「GBブルー」または「黒」の場合は、「白ヌキ」
で使用する。
もしくは、フレームをつけて表示する。
(余白のルール参照)



ROUTE GRAND BLUE

**ROUTE
GRAND BLUE**



ROUTE GRAND BLUE

**ROUTE
GRAND BLUE**

それ以外の色背景または柄背景

背景が「GBブルー」または「黒」以外の場合は、必
ずフレームをつけ、フレームなしの表示は避ける(余
白のルール参照)



ROUTE GRAND BLUE

**ROUTE
GRAND BLUE**

背景との組み合わせルール／写真背景編

写真の上にロゴを置くと、背景の色や明るさ、模様の細かさによってはロゴが見えにくくなる場合があります。

そのため、写真を使う場合はロゴの視認性がきちんと保たれているかを最優先に判断します。

このページのNG / OK 例を参考に、ロゴが自然に読める視認性を担保する配置を選んでください。

NG例

背景とロゴの色が近く、十分なコントラストが確保できていないため、ロゴが見えにくくなっています。雲の白や空・海の濃い青など、ロゴと“似た明るさ・色味”が重なると、形や文字が背景に溶け込んで識別が難しくなります。とくに写真の細部が多い部分では、ロゴが埋もれやすくなるため避けてください。



OK例

ロゴの後ろに同系色や細かい要素が重ならず、はっきり読み取れる状態になっています。背景とのコントラストが十分にあり、ロゴの形と文字が明確に識別できます。背景が複雑な場合は、この例のようにフレームを追加することで視認性を確保できます。



4 間違えやすいポイント

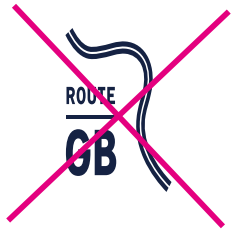
ロゴを使う上で、やってはいけない例-1

ロゴは、形・比率・色・配置がそろってはじめて、同じ印象で伝わるように設計されています。

そのため、ロゴを変形したり、色を変えたり、別の要素と組み合わせてしまうと、本来のイメージが損なわれてしまいます。

このページでは、ロゴの認識性と統一感を保つために避けてほしい使用例をまとめています。

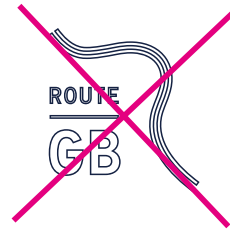
使用する前に、ロゴの形や雰囲気は崩れていないかを確認し、正しい状態をご利用ください。



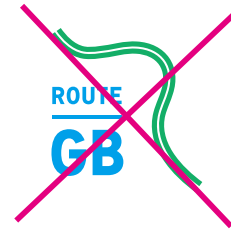
ロゴの縦横比を変えない
ロゴの縦横比を変更して使用しないでください。形状は必ず保ってください。



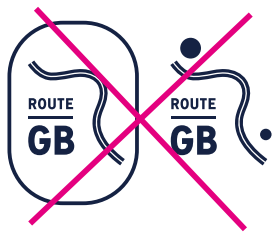
回転・傾きをつけない
ロゴを回転させたり傾けたりして使用しないでください。



アウトライン化しない
ロゴをアウトラインに変換して使用しないでください。



色を変更しない
テーマカラー以外の色を使用せず指定された配色で使用してください。



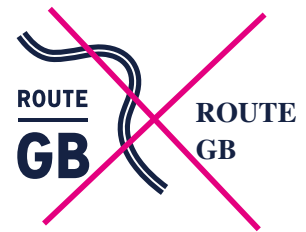
要素を追加しない
ロゴに装飾や図形などの別要素を加えて使用しないでください。



要素を分解しない
ロゴの要素を分解したり再配置して使用しないでください。



フォントを変えない
ロゴ内の文字を他のフォントに置き換えて使用しないでください。



文字を重複しない
ロゴタイプと重複する文字を横に併記して使用しないでください。

その他NG例（媒体別）

グッズやアパレルなど、媒体が変わってもロゴの扱い方は同じです。

ロゴの色を変えたり、要素をバラバラに配置したりすると、本来のデザイン意図が伝わらなくなってしまいます。

このページでは、よく起こりがちな誤った使用例をまとめています。

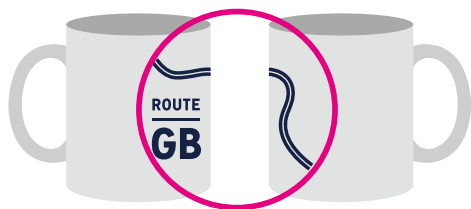
制作する際は、ロゴの色・形・配置が正しく保たれているかを確認し、意図しないアレンジが加わらないようにしてください。

○マグカップ

マークを切り取らない。マークのトリミングや部分的な使用はしないでください。



一部が見切れるのは可。カップ形状により一部が見えにくくなる場合などは問題ありません。



○Tシャツ

マークを切り取らない。マークのトリミングや部分的な使用はしないでください。



マークを並べない。マークを繰り返し配置して使用しないでください。

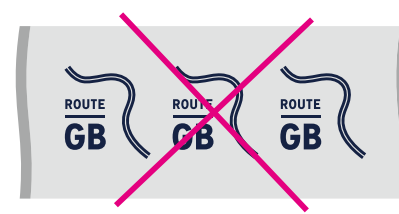


○タオル

マークを切り取らない。マークのトリミングや部分的な使用はしないでください。



マークを並べない。マークを繰り返し配置して使用しないでください。



5 ログデータについて

白ヌキロゴの使用について

白ヌキのロゴを使用する際は、カラーのロゴデータを白に変換して使用しないでください。

カラー版のロゴをそのまま白に置き換えると、膨張色による視覚的な影響により、S字部分の太さや輪郭の見え方が変わってしまいます。

ロゴの印象や視認性を正しく保つため、白ヌキのロゴを使用する際は、カラーのロゴデータをそのまま白に変換して使用しないでください。

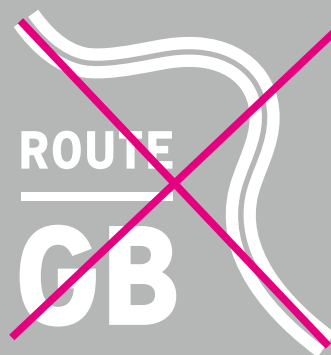
必ず白ヌキ専用のロゴデータを使用してください。

NG

カラー版を白に変換して使用
膨張色の影響により、S字部分の視認性や
線の印象が変化してしまいます。



カラー版を白に
変更する



OK

白ヌキ専用データを使用
線の太さや形状が、意図どおりに保た
れています。



ロゴデータの形式と使用シーンについて

本ロゴデータには、用途に応じて複数のデータ形式が含まれています。
それぞれの形式には適した使用シーンがあり、用途に合ったデータを使用することで、色味の違いや画質劣化、制作トラブルを防ぐことができます。
以下を目安としてご使用ください。

ベクターデータ (マスターデータ)

本ロゴデータのうち、正確な再現性と拡張性をもつ元データです。拡大・縮小による劣化がなく、印刷や施工など、品質管理が求められる制作の基準となるデータです。制作会社や施工会社へデータを渡す際は、こちらの形式を基本としてください。

AIデータ (Adobe Illustrator)

主な使用シーン

- ・印刷物 (チラシ、パンフレット、ポスターなど)
- ・サイン、看板、什器、カッティングシート
- ・刺繍、レーザー加工などの二次加工
- ・制作会社・施工会社によるデータ入稿

特徴

- ・拡大・縮小しても画質が劣化しません
- ・正確な色指定・寸法指定が可能です
- ・ロゴのマスターデータにあたります

注意点

- ・Webやデジタル用途でそのまま使用することは想定していません。
- ・CMYK設定のままWeb制作に使用すると、色味が大きく変わる場合があります。
- ・内容の編集・再描画は行わないでください。

画像ファイル

主にデジタル環境や資料作成など、画面上での使用を想定したデータです。
用途に応じて適切な形式を選ぶことで、色味の違いや画質の劣化を防ぐことができます。

PNGデータ

主な使用シーン

- ・PowerPoint、Word、Keynote などの資料
- ・SNS投稿
- ・Web上での簡易使用
- ・社内資料や告知用ビジュアル

特徴

- ・背景が透過されており、配置しやすい形式です
- ・画像として扱いやすく、汎用性があります
- ・RGB環境での使用を前提としています。

注意点

- ・拡大すると画質が劣化します。
- ・高精細な印刷やサイン制作には不向きです。
- ・迷った場合は、印刷・制作用途は「AIデータ」、Web用途は「SVGデータ」を基準にしてください。

SVGデータ

主な使用シーン

- ・Webサイト
- ・デジタルサイネージ
- ・アプリ、UIデザイン
- ・デジタル媒体でのロゴ表示全般

特徴

- ・ベクターデータのため、拡大・縮小しても劣化しません。
- ・軽量で、Web表示に適した形式です。
- ・RGB環境での使用を前提としています。

注意点

- ・印刷用途での使用は想定していません。
- ・制作環境によっては表示が崩れる場合があります。
- ・SVGを編集してロゴ形状を変更しないでください。

データの保存場所

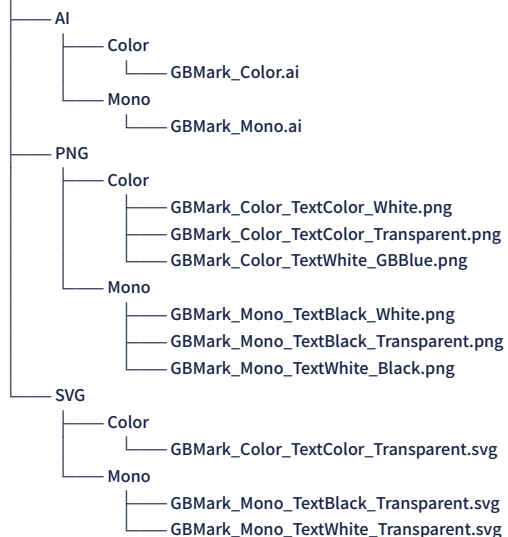
本ロゴデータは、用途や使用条件に応じてロゴの種類・データ形式・カラー仕様ごとに整理されたフォルダ構成で格納されています。

各ロゴフォルダの中には、AI / PNG / SVG のデータ形式が用意されており、さらにカラー / モノクロ、背景（白・透明）や文字色の違いごとに整理されています。使用する媒体や目的に応じて、該当するロゴ種類・形式・仕様のフォルダからデータを選択してご使用ください。

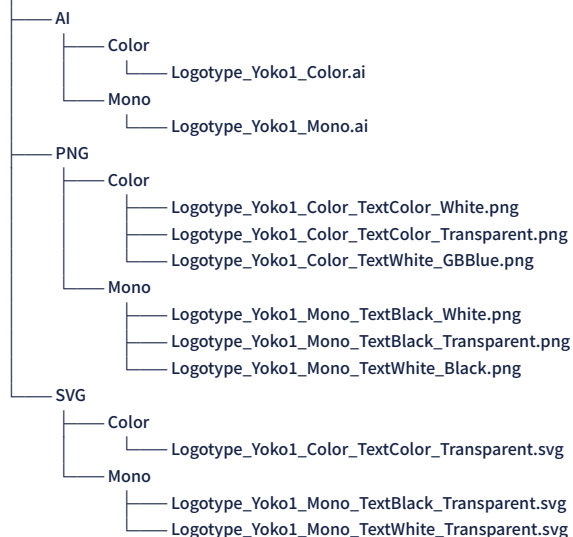
※ロゴデータは、別途申請・支給された正式データのみをご使用ください。

ROUTE_GRAND_BLUE_LOGO

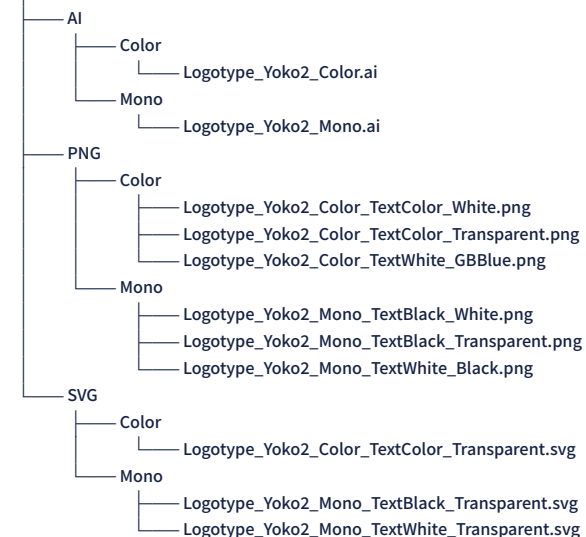
01_GBMark



02_Logotype_Yoko1dan



03_Logotype_Yoko2dan



お問い合わせ

佐賀県観光課（担当課）

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号

Tel：0952-25-7386

2026年1月発行

本マニュアルに記載されているデザインの著作権は佐賀県に帰属しており、使用する場合は原則として事前に申請手続きが必要となりますのでご注意ください。

※カラーは使用環境によって実物と異なって見える場合があります。

実際に使用される際は、本マニュアルにあるカラーチップナンバー（PANTONE、DIC）やCMYK、RGBの分解色でご確認ください。

※本ガイドマニュアルからの無断引用・転載を禁じます。

※本マニュアルに記載のないデザインの展開に関しては佐賀県観光課までご相談ください。